

バス・タクシー・鉄道の自動運転シンポジウム

○主 催：一般財団法人運輸総合研究所

○日 時：2025年6月13日(金) 14:00～17:30 (開場:13:30)

○会 場：イイノカンファレンスセンターROOM A およびオンライン配信 (Zoomウェビナー)

プログラム

注) プログラムは変更になる可能性があります。

主なSDGs 関連項目



【開会挨拶】 宿利 正史 運輸総合研究所 会長

【基調講演】

講演① 「自動運転の取り組みについて」

竹中 由紀夫 日本バス協会会長補佐、伊予鉄バス株式会社代表取締役専務取締役

講演② 「世界最高のモビリティUX目指して」

川鍋 一朗 全国ハイヤー・タクシー連合会会長、日本交通株式会社取締役

【研究報告】 「運輸分野における自動運転導入の効果・影響と普及加速化～提言報告～」

運輸総合研究所 長谷川 稜 研究員 渡邊 洋輔 研究員

【パネルディスカッション】

【モデレーター】 須田 義大 東京工科大学教授、片柳研究所未来モビリティ研究センター長

【パネリスト】 竹中 由紀夫 日本バス協会会長補佐、伊予鉄バス株式会社代表取締役専務取締役

浅井 康太 株式会社みちのりホールディングスグループディレクター

川鍋 一朗 全国ハイヤー・タクシー連合会会長、日本交通株式会社取締役

大東 明 東武鉄道株式会社鉄道事業本部技術統括部車両部長

猪股 博之 国土交通省物流・自動車局技術・環境政策課長

運輸分野における自動運転導入の効果・影響と普及加速化に関する検討委員会委員

小木津 武樹 群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センター副センター長(准教授)

平栗 滋人 前 鉄道総合技術研究所研究開発推進部JR部長
(現 日本信号株式会社次世代交通インフラ推進室 理事)

【閉会挨拶】 上原 淳 運輸総合研究所 理事長

会場アクセス

イイノカンファレンスセンター 4階 Room A

<https://www.iino.co.jp/hall/access/>

東京メトロ 日比谷線・千代田線「霞ヶ関」駅 C4出口直結

東京メトロ 丸ノ内線「霞ヶ関」駅 B2出口 徒歩5分

東京メトロ 銀座線「虎ノ門」駅 9番出口 徒歩3分

東京メトロ 有楽町線「桜田門」駅 5番出口 徒歩10分

JR山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線、

都営地下鉄浅草線、ゆりかもめ「新橋」駅 徒歩10分

都営地下鉄 三田線「内幸町」駅 A7出口徒歩3分



〒100-0011

東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング4階

登壇者のご紹介



基調講演 兼 パネリスト 竹中 由紀夫

日本バス協会会長補佐、伊予鉄バス株式会社代表取締役専務取締役

<略歴>

1992年3月 明治学院大学 法学部 卒業
 1992年4月 伊予鉄道株式会社（現伊予鉄グループ）入社
 2007年7月 同社 自動車部 自動車課長
 2011年7月 同社 自動車部 室町営業所所長
 2015年7月 同社 自動車部 次長
 2016年6月 伊予鉄南予バス株式会社 専務取締役
 2017年4月 同社 代表取締役社長
 2018年4月 伊予鉄バス株式会社 取締役
 2019年6月 株式会社伊予鉄グループ 取締役（現任）
 2019年6月 伊予鉄バス株式会社 代表取締役専務取締役（現任）
 2019年6月 伊予鉄南予バス株式会社 取締役（現任）



基調講演 兼 パネリスト 川鍋 一郎

全国ハイヤー・タクシー連合会会長、日本交通株式会社取締役

<略歴>

1993年慶應義塾大学経済学部卒業。1997年ノースウェスタン大学ケロッグ経営大学院MBA取得。マッキンゼー東京オフィスのアソシエイトを経て2000年日本交通(株)に入社、2005年代表取締役社長、2015年代表取締役会長、2023年取締役。創業家の三代目として約1万台の国内最大手のハイヤー・タクシー会社を牽引。同時に、国内No1タクシーアプリGOやタクシーサイネージを運営するGO(株)の代表取締役会長としてモビリティの進化を実現。2014年より東京ハイヤー・タクシー協会の会長、2017年より全国ハイヤー・タクシー連合会の会長。



研究報告 長谷川 稜 運輸総合研究所 研究員

<略歴>

2015年3月立命館大学理工学部電子光情報工学科卒業。
 同年4月オムロンソーショナルソリューションズ株式会社へ入社後、運賃のデータ設計者として運賃計算モジュールの開発や消費税運賃改定等を担当。2019年からは関東の鉄道事業者様向けシステムのSE/PMとして、収入系システムのクラウド化や定期券Web予約システムの開発、乗車ポイントシステムの開発等に従事。
 2024年4月より現職



研究報告 渡邊 洋輔 運輸総合研究所 研究員

<略歴>

2008年3月北海道大学工学部機械工学科卒業。
 同年4月日本信号株式会社に入社。
 2011年より国際事業部にて、鉄道信号システムや道路交通システムの海外向け営業を担当。台湾駐在を経て、日本に帰国後は、タイ・インドネシア・フィリピンの他、中国・韓国などの各国案件の営業及びプロジェクト管理に従事。
 2023年4月より現職。

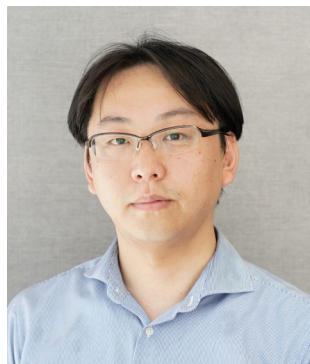
登壇者のご紹介



モデレーター 須田 義大 東京工科大学教授、片柳研究所未来モビリティ研究センター長

＜略歴＞

1982年東京大学工学部機械工学科卒業、同大学大学院工学系研究科産業機械工学専攻博士課程修了（工学博士）。法政大学を経て1990年東京大学生産技術研究所助教授。カナダ・クイーンズ大学客員助教授を経て、東京大学生産技術研究所教授、東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構長。2025年4月より東京工科大学教授 片柳研究所未来モビリティ研究センター長就任。専門は制御動力学。鉄道、自動車などの交通システムに関する研究に幅広く従事。主な社会活動は一般社団法人 日本機械学会（理事、副会長）、公益社団法人 自動車技術会（理事、副会長、監事）、日本鉄道技術協会（理事）、鉄道技術総合研究所（理事、評議員）、自動車研究所（理事）、道路交通情報センター（理事）、自動車安全運転センター（評議員）など。主な受賞歴は、日本機械学会賞（1989年・奨励賞、1996年・2004年・論文賞、2007年・技術賞）、2016年 Institution of Mechanical Engineers, John F Alcock Memorial Prizenなど。



パネリスト 浅井 康太 株式会社みちのりホールディングスグループディレクター

＜略歴＞

2007年 京都大学工学部 工業化学科 卒業
 2009年 京都大学院工学研究科 合成生物科学専攻 卒業
 2009年 株式会社日本総合研究所 創発戦略センター 入社
 環境・エネルギー・モビリティ領域のリサーチ、新規事業支援業務に従事
 自動運転のコンソーシアムの立ち上げ業務に従事
 2015年 WILLER ALLIANCE株式会社入社
 社長室にて新規事業企画を担当
 WILLER EXPRESS株式会社 安全推進室長を兼務
 2017年 株式会社みちのりホールディングス入社
 グループ全体のDX/GX領域の取組を推進



パネリスト 大東 明 東武鉄道株式会社鉄道事業本部技術統括部車両部長

＜略歴＞

1997年3月 慶応義塾大学理工学部機械工学科卒業
 1997年4月 東武鉄道株式会社入社
 主に鉄道車両の保守関係業務に従事
 本社計画管理部門、現業管理職、業務委託子会社（東武インターテック（株））出向などを経て、
 2023年4月 車両部長、鉄道車両の設計管理者
 現在に至る



パネリスト 猪股 博之 国土交通省物流・自動車局技術・環境政策課長

＜略歴＞

東京工業大学大学院修了
 1994年4月 運輸省入省（鉄道局保安車両課）
 2005年7月 自動車基準認証国際化研究センタージュネーブ事務所長
 2010年7月 国土交通省自動車局技術政策課先進技術推進官
 2013年4月 独立行政法人自動車事故対策機構企画部長 兼 自動車アセスメント部長
 2015年7月 国土交通省自動車局技術政策課自動車基準協定対策官
 2018年7月 国土交通省自動車局技術政策課国際業務室長
 2021年4月 国土交通省自動車局安全・環境基準課長
 2022年4月 国土交通省自動車局車両基準・国際課長
 2023年7月 国土交通省物流・自動車局（旧 自動車局）技術・環境政策課長

登壇者のご紹介



パネリスト 小木津 武樹 群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センター副センター長(准教授)
※運輸分野における自動運転導入の効果・影響と普及加速化に関する検討委員会委員

<略歴>

1985年8月7日生まれ。大学生時代から一貫して自動車の自動運転に関する研究活動を推進。近年では自動運転の技術研究のみならず、社会実装モデルの研究に従事。公道での実証実験や新技術デモの経験が多数ある。

2004年4月-2008年3月 慶應義塾大学環境情報学部

2008年4月-2010年3月 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程

2010年4月-2013年3月 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程

2013年4月-2016年1月 東京理科大学理工学部機械工学科 助教

2016年2月-2017年7月 群馬大学大学院理工学府 助教

2016年12月-現在 群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センター 副センター長（准教授）



パネリスト 平栗 滋人 前 鉄道総合技術研究所研究開発推進JR部長
(現 日本信号株式会社次世代交通インフラ推進室 理事)

※運輸分野における自動運転導入の効果・影響と普及加速化に関する検討委員会委員

<略歴>

1989年 東京理科大学理工学部電気工学科卒業

1991年 東京理科大学大学院理工学研究科修士課程電気工学専攻修了
財団法人鉄道総合技術研究所入社

2008年 信号研究室長

2014年 信号・情報技術研究部長

2017年 研究開発推進部 次長

2023年 研究開発推進部 JR部長

2025年 鉄道総合技術研究所退職

現職

[主な業務歴]

無線式列車制御システム、列車群制御、鉄道信号システムの安全性技術などの研究開発、および鉄道信号システムの安全性評価、国際規格（IEC TC9）の国内事務局業務などに従事。2017年以降は、鉄道へのデジタル技術活用研究のマネジメント、鉄道の自動運転に関する技術検討などに従事。

[受賞]

日本鉄道技術協会坂田記念賞優秀賞（2012年）、日本信頼性学会高木賞（2019年）